

レタンPGエコフリート WRプラサフ 標準塗装仕様

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	足付け		
2	脱脂・清掃 	脱脂剤、ウエスにて塗装面を脱脂。	
3	塗装 	○通常仕様 $\begin{matrix} \text{〔ベース〕} & \text{〔硬化剤〕} & \text{〔シンナー〕} \\ \boxed{100} & + & \boxed{10} & + & \boxed{20\sim40} \end{matrix}$ ○プラスチック仕様 $\begin{matrix} \text{〔ベース〕} & \text{〔プラスチック硬化剤〕} & \text{〔シンナー〕} \\ \boxed{100} & + & \boxed{30} & + & \boxed{15\sim35} \end{matrix}$	● 塗装回数：2～3回 ● PP素材へ塗装する際は、必ずレタンPGエコ プラスチックプライマーを塗装してください
4	乾 燥 	○通常仕様 ・60℃×20分 ・20℃×2時間以上 ○プラスチック仕様 ・60℃×40分 ・20℃×4時間以上	

レタンPGエコフリート WRプラサフ ノンサンディング仕様

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	足付け		
2	脱脂・清掃 	脱脂剤、ウエスにて塗装面を脱脂。	
3	塗装 	○通常仕様 〔ベース〕〔バインダー〕〔硬化剤〕〔シンナー〕 $\boxed{100\sim80} + \boxed{0\sim20} + \boxed{15} + \boxed{25\sim45}$ ○プラスチック仕様 〔ベース〕〔バインダー〕$\left[\begin{smallmatrix} \text{プラスチック} \\ \text{硬化剤} \end{smallmatrix} \right]$〔シンナー〕 $\boxed{100\sim80} + \boxed{0\sim20} + \boxed{30} + \boxed{20\sim40}$	● P P 素材へ塗装する際は、必ずレタン P G エコ プラスチックプライマーを塗装してください ● 肌が平滑になるように、塗装してください ● バインダーはレタン P G エコフリートニゴリ用クリアーベース、レタン P G エコフリート各種原色の使用が可能です
4	乾 燥 	○通常仕様、プラスチック仕様 ※上塗り塗装可能時間 ・ 60℃×20分 ・ 20℃×1時間以上～48時間以内	

レタンPGエコフリート WRプラサフ 塗装仕様概要

概要1) 標準塗装仕様

	通常仕様	プラスチック仕様
ベース	100	100～90
硬化剤	10	HXプラスチック硬化剤 30
シンナー	20～40	15～35
膜厚 (μm)	40～60	40～60
研磨可能時間	60℃×20分 20℃×2時間以上	60℃×40分 20℃×4時間以上
ポットライフ	150分	90分

概要2) ノンサンディング仕様

	通常仕様	プラスチック仕様
ベース	100～80	100～80
バインダー	0～20	0～20
硬化剤	15	HXプラスチック硬化剤 30
シンナー	25～45	20～40
膜厚 (μm)	30～50	30～50
研磨可能時間	60℃×20分 20℃×1時間以上 ～48時間以内	60℃×20分 20℃×1時間以上 ～48時間以内
ポットライフ	180分	90分

レタンPGエコフリート WRプラサフ

希釈シンナーの選び方

塗装面積	タイプ	温 度 (℃)								
	エコシンナー	5	10	15	20	25	30	35	40	
キャビン 全塗装	50								■■■■■	
	40						■■■■■	■■■■■	■■■■■	
	30				■■■■■	■■■■■	■■■■■			
	20		■■■■■	■■■■■	■■■■■					
	10	■■■■■	■■■■■							
	5	■■■■■								

注 意 事 項

- 下記の注意事項を守って下さい。 ●詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予 防 策

- 取り扱い作業中および塗膜乾燥中の作業場は、局所排気装置等を稼働させ、必要な保護具(呼吸用保護具、保護メガネ、保護手袋等)を着用し、粉じん・ガス・ミスト・蒸気の吸入および皮膚等へ直接付着しないようにすること。
- 有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、作業内容に応じて、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等が場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。